

道路・河川の維持管理

1 道路

道路を常に安全で快適な状態で利用していただくために、次のような業務を行っています。

- 道路のパトロール
- 損傷した路面、側溝等の補修
- 路面清掃
- 橋梁・トンネル・照明・標識等の点検・補修
- 路肩や道路植栽帯の除草管理
- 積雪時の除雪や路面凍結防止対策



道路のパトロール

2 社会資本の長寿命化

橋梁、舗装、道路アンダー等の社会資本について定期的な点検を実施し、計画的かつ効率的に補修を行うことにより、施設の長寿命化を推進します。



橋梁点検状況



橋梁補修状況

3 河川・砂防

水害や土砂災害等に備え、河川や砂防施設の正常な機能を維持するために、次のような業務を行っています。

- 河川・砂防施設のパトロール
- 損傷した河川堤防の補修
- 堤防等の草刈りや清掃
- 護岸、床固め等の構造物の点検及び補修工事
- 排水ポンプ車等による内水の排除
- 油流入等による異常水質事故の対応



排水ポンプ車の訓練状況

ダム管理（松田川ダム）

ダムの安全・正常な利活用のために、次のような業務を実施しています。

1 施設管理

- 各施設の点検・整備
- ダムの観測・計測
- ・貯水位の水位
- ・ダムの傾き
- ・地震時のゆれ
- ・ダムの水質等

2 機能管理

- 雨量などデータ収集
- 洪水調節
- ・下流の見廻り
- ・放流操作
- 利水補給・放流操作

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| ■ダムの種類：重力式コンクリートダム | ■ダムの体積：16万6千m ³ |
| ■完成年度：平成7(1995)年度 | ■貯められる水の量：190万m ³ |
| ■ダムの高さ：56m | ■ダムの湖の面積：0.11km ² |
| ■ダムの長さ：228m | ■雨が湖に流れ込む区域：4km ² |

ダムカードを配布しています。詳しくは県のHPをご覧ください。



許認可事務

1 道路法

- ①道路占用許可
道路を使用(占用)する場合には、許可が必要です。
- ②道路工事施工承認
車両乗入口の設置や取付け道の設置等道路と関係する工事を行う場合には、承認が必要です。

2 河川法

河川区域内において土地を使用(占有)したり、工作物等の新築、土地の形状変更を行う場合や、河川保全区域内において、工作物等の新築、土地の形状変更を行う場合には、許可が必要となります。

3 砂防3法

次の区域内へ盛土、切土等を行う場合には、各法律に基づく許可が必要です。

- ①砂防指定地(砂防法)
- ②急傾斜地崩壊危険区域(急傾斜地法)
- ③地すべり防止区域(地すべり等防止法)

4 土砂災害防止法

土砂災害特別警戒区域内で特定の開発行為を行う場合には、許可が必要となります。



栃木県 安足土木事務所(足利庁舎)

〒326-8555 栃木県足利市伊勢町4-19
TEL:0284-41-2331(代表) FAX:0284-41-1052

保全第二部(安蘇庁舎)

〒327-8503 栃木県佐野市堀米町607
TEL:0283-24-3111(代表) FAX:0283-24-3176



HPアドレス <https://www.pref.tochigi.lg.jp/h59/index.html>

E-mail ansoku-dj@pref.tochigi.lg.jp



本製品は、①適切に管理されたFSC®認証林およびその他の管理された供給源からの原材料で作られた紙を用いて「森林資源保全」に、②石油系溶剤の一部を植物油に置き換えたインキを使用し光化学スモッグの原因となるVOC(揮発性有機化合物)を削減して「大気保全」に、③ご利用後に「印刷用の紙に再生できる」よう配慮して、④GP認定工場で印刷し、発行しています。

Ashikaga



足利花火大会(足利市)



大藤(足利市)

栃木県 安足土木事務所

ANSOKU CIVIL ENGINEERING OFFICE



とちまるくん
あんそくどほくver.
©栃木県 とちまるくん



かたくりの里(佐野市)



唐沢山(佐野市)

Sano

栃木県 安足土木事務所



■管内の概要

安足土木事務所は、平成22年4月に佐野土木事務所と足利土木事務所の統合により誕生した事務所です。管内は、県南を代表する足利市・佐野市の2市で構成され、栃木県の南西部に位置しています。

地勢は、関東平野の北端に連なる山岳地帯及び平野部との接点にあり、東部は栃木市に、西部は群馬県桐生市に、南部は渡良瀬川を挟んで群馬県太田市・館林市に、北部は鹿沼市・群馬県みどり市に接しています。管内の面積は約534㎢で県全体の約8%、人口は約25万人で約13%を占めています。

管内の2市は、市街地の北部に美しい山並みを望む自然豊かな都市です。それぞれ、古くから織物や鋳物の町として産業が発展し、近年は、機械器具、プラスチック製品、金属製品製造業等が集積した産業都市となるとともに、両毛地域の商業都市となっています。また、両市ともに、「小京都」の認定を受けるなど、国宝に指定された歴史的に重要な史跡や美しいまちなみが残されています。足利市にあっては、足利氏ゆかりの「鍔阿(ばんな)寺」、日本最古の総合大学として知られる「足利学校」等、佐野市にあっては、藤原秀郷の居城であり、「全国山城サミット」が開催された「唐沢山城跡」等の歴史・文化遺産が各所にあります。その他にも、管内には藤の花で知られる「あしかがフラワーパーク」、「足利花火大会」、「佐野プレミアム・アウトレット」、「佐野厄除け大師」、「道の駅どまんかたぬま」等の名所やイベントも数多く、県内外からの多くの観光客で賑わっています。

交通網は、東西に、北関東自動車道、国道50号、国道293号及びあしかがフラワーパーク駅が新設されたJR両毛線、南北に、東北自動車道及び東武鉄道伊勢崎線、佐野線が通っており、各方面へのアクセスがしやすい交通の要衝となっています。県が管理する道路は、国道2路線(国道293号、国道407号)、主要地方道12路線、一般県道39路線の合計53路線、総延長約336km、河川は、渡良瀬川にそそぐ秋山川・袋川等の合計26の一級河川、総延長約228kmです。また、その他にも、砂防指定地・急傾斜地崩壊危険区域228箇所及び松田川ダムを管理しています。



■管内のデータおよび栃木県に占める割合

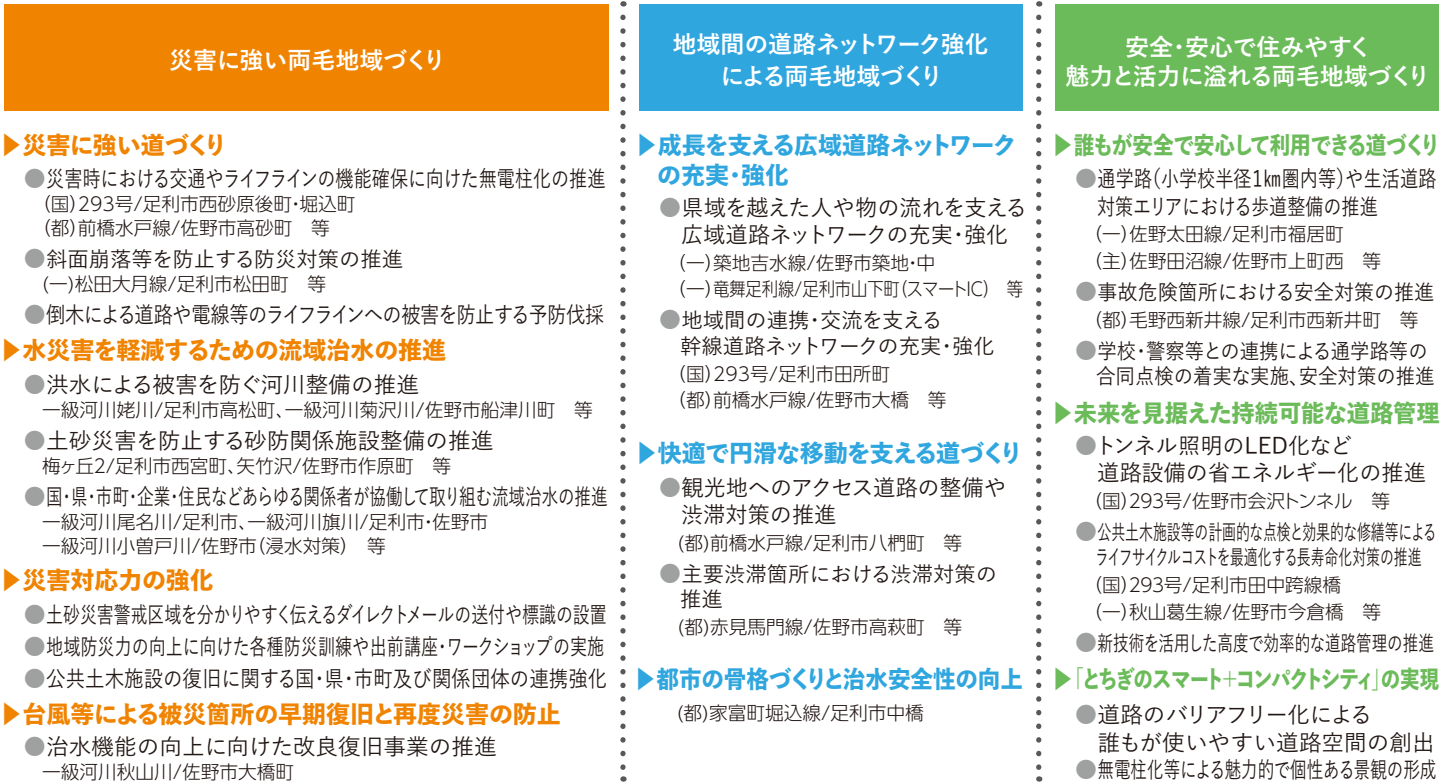
区 分		栃木県(A)	安足土木事務所管内(B)	B/A	調査年月日
面 積		6,408.09㎢	533.80㎢	8.3%	R8(2026).1.1
人 口		1,858,797人	245,945人	13.2%	R8(2026).4.1
市 町 数		25市町	2市	8.0%	//
県管理国道	路 線 数	12路線	2路線	16.7%	R7(2025).4.1
	延 長	690,274m	27,449m	4.0%	//
	舗 装 率	99.6%	100%	—	//
	改 良 率	98.8%	100%	—	//
県 道	路 線 数	293路線	51路線	17.4%	//
	延 長	2,879,028m	308,844m	10.7%	//
	舗 装 率	99.0%	98.7%	—	//
	改 良 率	90.7%	92.4%	—	//
県管理国道及び県道延長合計		3,569,302m	336,293m	9.4%	//
県管理国道及び県道橋梁数		2,798橋	322橋	11.5%	//
県 管 理	一級河川数	292河川	26河川	8.9%	R8(2026).4.1
	一級河川延長	2,474.82km	228.11km	9.2%	//
砂防指定地	箇 所 数	1,640箇所	156箇所	9.5%	R8(2026).3.1
	面 積	7,299.55ha	553.66ha	7.6%	//
急傾斜地崩壊危険区域	箇 所 数	324箇所	72箇所	22.2%	//
	面 積	400.43ha	90.71ha	22.7%	//
県 営 住 宅 数		7,220戸	1,314戸	18.2%	R8(2026).4.1
都 市 計 画 区 域		413,344ha	31,030ha	7.5%	//
市 街 化 区 域		30,369ha	6,318ha	20.8%	//
用 途 地 域		39,123ha	6,318ha	16.1%	//

■事業執行に関する基本方針

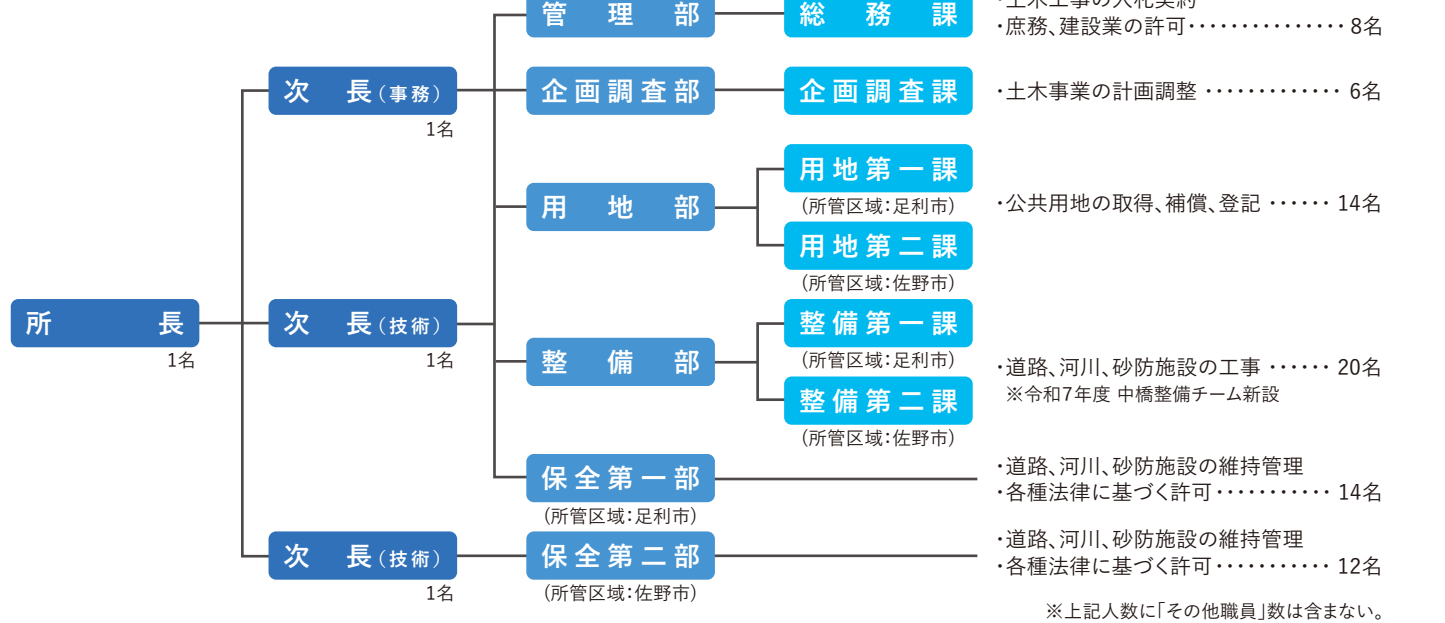
栃木県重点戦略「新とちぎ未来創造プラン」および「県土づくりプラン(2026～2030)」の初年度を迎え、めざすとちぎの将来像「共に創る 人も地域も輝く“元気なとちぎ”」を実現するために、重点施策を着実に実施し、両毛地域の発展に努めます。

■執行方針

〈組織目標〉 ～足利市・佐野市と連携、協働して両毛地域の未来を支える基盤づくり～



■組織図



職 員 数：91名(事務職員31名[足利市派遣職員1名、佐野市派遣職員1名]、技術職員41名、現業職員6名、その他職員13名)
その他職員：13名(用地事務支援員3名、道路河川ダム監視員7名、事務補助員3名)

安足土木事務所 主要事業

① 一般県道 電舞足利線

足利市 山下町

- 快速で安全な道づくり事業(補助)
- 全体計画: L=約1,100m W=14.5m C=約18億円
- 事業期間: 令和5(2023)年度～整備中



本工区は、足利市が計画する(仮称)足利スマートICの整備に合わせ、広域的な交流・連携の促進や産業・経済の活性化、災害時における安定的な輸送経路の確保等を目的に、同スマートICのアクセス路となるバイパス道路の整備を実施しています。

② 一般県道 佐野太田線

足利市 福福町

- 快速で安全な道づくり事業費(補助)
- 全体計画: L=約1,200m W=14.0m C=約19億円
- 事業期間: 令和2(2020)年度～令和12(2030)年度(予定)



本工区は、御厨小学校の通学路となっていますが、歩道が狭く、歩行者・自転車の安全な通行に支障をきたしています。そこで、安全で円滑な通行空間を確保するため、歩道整備を実施しています。

③ 国道 293号

足利市西砂原後町(電線共同溝)

- 快速で安全な道づくり事業費(補助)
- 全体計画: L=約1,400m W=25.0m C=約10億円
- 事業期間: 令和6(2024)年度～令和16(2034)年度(予定)



本路線は、茨城県日立市から足利市に至る一般国道であり、本工区の近隣には市役所やIC、駅が立地しています。当該地区の防災機能を強化し、災害時において信頼性の高い交通ネットワークを確保するため、栃木県無電柱化推進計画に基づき、電線類の地中化を実施しています。

④ 主要地方道 佐野田沼線

佐野市 堀米町

- 快速で安全な道づくり事業費(補助)
- 全体計画: L=約540m W=21.0m C=約9億円
- 事業期間: 令和7(2025)年度～令和11(2029)年度(予定)



本工区は、城北小学校の通学路となっていますが、歩道が狭く、歩行者・自転車の安全な通行に支障をきたしています。また、朝夕の通勤時間帯には、堀米町交差点を中心に渋滞が発生しています。そこで、安全で円滑な通行空間を確保するため、道路拡幅を実施しています。

⑤ 一般県道 築地吉水線

佐野市 築地町～中町(佐野東部幹線道路)

- 快速で安全な道づくり事業費(補助)
- 全体計画: L=約2,700m W=15.0m C=約29億円
- 事業期間: 平成26(2014)年度～整備中



本工区は、佐野市マスタープランの重要路線に位置づけられており、大型車交通量が多いにもかかわらず、線形が屈曲しているとともに、歩道もなく安全な通行に支障をきたしています。そこで、安全で円滑な通行空間を確保するため、バイパス道路の整備を実施しています。

⑥ 主要地方道 桐生岩舟線

佐野市 免馬町

- 快速で安全な道づくり事業費(補助)
- 全体計画: L=約1,300m W=15.5m C=約12億円
- 事業期間: 令和8(2026)年度～令和15(2033)年度(予定)



本工区は、西中学校の通学路となっていますが、歩道が狭く、歩行者・自転車の安全な通行に支障をきたしています。また、令和10年度にかえて義務教育学校が開校することから、更に通学児童数の増加が見込まれます。そこで、安全で円滑な通行空間を確保するため、歩道整備を実施しています。

⑦ 一級河川 名草川

足利市 利保町

- 大規模特定河川事業費(補助)
- 全体計画: L=約2,100m W=22.0m C=約47億円
- 事業期間: 平成25(2013)年度～令和15(2033)年度(予定)



名草川では、令和元年東日本台風に伴う豪雨出水により、主に下流部付近において堤防の越水による甚大な被害が発生しました。本工区は、一級河川袋川合流部から中通橋までの区間において、氾濫を防止し浸水被害等の軽減を図るため、河横拡大や護岸整備を実施しています。

⑧ 一級河川 姥川

足利市 高松町

- 安全な川づくり事業費(補助)
- 全体計画: L=約3,300m W=19.1m C=約29億円
- 事業期間: 令和2(2020)年度～令和21(2039)年度(予定)



姥川では、河横が小さいため、台風や豪雨時に下流部付近において宅地や農地等への浸水被害が度々発生しています。本工区は、上流端から高松町姥川合流点までの区間において、氾濫を防止し浸水被害等の軽減を図るため、河横拡大や護岸整備を実施しています。

⑨ 一級河川 旗川

足利市 寺岡町

- 大規模特定河川事業費(補助)
- 全体計画: L=約2,200m W=42.0m C=約19億円
- 事業期間: 令和2(2020)年度～令和10(2028)年度(予定)



旗川では、令和元年東日本台風に伴う豪雨出水により、主に中流部付近において越水による甚大な浸水被害が発生しました。本工区は、河横が特に狭小な稲岡橋からJR両毛線までの区間において、氾濫を防止し浸水被害等の軽減を図るため、河道掘削や樹木伐採を実施しています。

⑩ 一級河川 尾名川

足利市 奥戸町

- 安全な川づくり事業費(補助)
- 全体計画: L=約2,650m W=40～65m C=約53億円
- 事業期間: 令和7(2025)年度～令和26(2044)年度(予定)

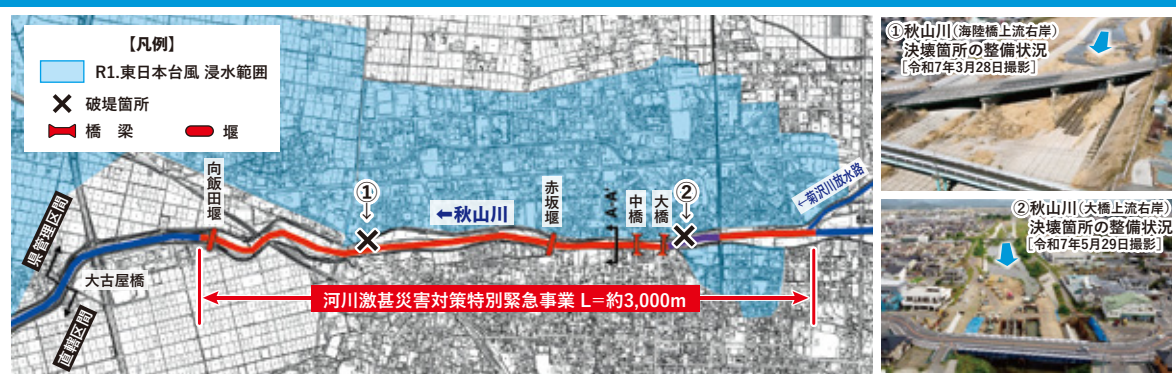


尾名川では、河横が小さいため、令和元年東日本台風をはじめとして、主に下流部付近において度重なる浸水被害が発生しています。本工区は、旗川合流点からJR両毛線までの区間において、氾濫を防止し浸水被害等の軽減を図るため、築堤や掘削、護岸整備等を実施しています。

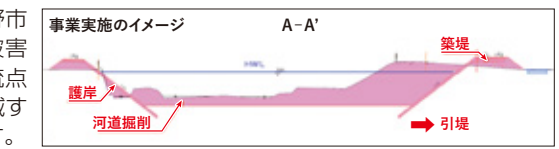
⑪ 一級河川 秋山川

佐野市 大橋町

- 河川激甚災害対策特別緊急事業
- 全体計画: L=約3,000m W=60.0m C=約57億円
- 事業期間: 令和元(2019)年度～令和8(2026)年度(予定)



秋山川では、令和元年東日本台風に伴う豪雨出水により、佐野市赤坂町及び大橋町市内の2箇所において決壊し、甚大な浸水被害が発生しました。本工区は、決壊箇所を含む、菊沢川放水路合流点から下流約3,000mの区間において、家屋等の浸水被害を軽減するため、河道掘削や河道拡幅、橋梁架け替え等を実施しています。



⑫ 一級河川 菊沢川

佐野市 船津川町

- 安全な川づくり事業費(補助)
- 全体計画: L=約3,300m W=25.4m C=約62億円
- 事業期間: 平成24(2012)年度～令和17(2035)年度(予定)



菊沢川では、河横が小さいため、台風や豪雨時には主に下流部付近において宅地や農地等への浸水被害が発生しています。本工区は、直轄から国道50号までの区間において、氾濫を防止し浸水被害等の軽減を図るため、河横拡大や護岸整備を実施しています。

⑬ 一級河川 旗川

佐野市 船越町

- 緊急防災・減災対策事業(県単)
- 全体計画: L=約600m W=20.0m C=約0.8億円
- 事業期間: 令和4(2022)年度～令和10(2028)年度(予定)

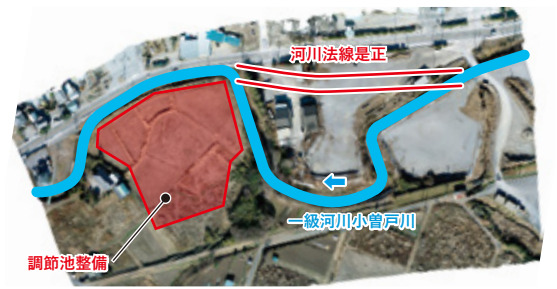


旗川では、室の沢橋付近において、堆積土砂や支障木により河横が小さくなっているため、台風や豪雨時には宅地や農地等への浸水被害が発生するおそれがあります。本工区は、河横を拡大し浸水被害等の軽減を図るため、堆積土除去及び立木伐採を実施しています。

⑭ 一級河川 小曾戸川

佐野市 築地町

- 緊急防災・減災対策事業(県単)
- 全体計画: L=約350m W=20.0m C=約4億円
- 事業期間: 令和2(2020)年度～令和10(2028)年度(予定)



小曾戸川では、令和元年東日本台風の豪雨出水により、主に中流部付近において溢水する等の甚大な浸水被害が発生しました。本工区は、浸水被害等の軽減を図るため調節池整備及び河川法線は正を実施しています。

⑮ 梅ヶ丘2

足利市 西宮町

- 砂防施設づくり事業費(補助)
- 全体計画: L=約410m C=約8億円
- 事業期間: 平成26(2014)年度～令和9(2027)年度(予定)

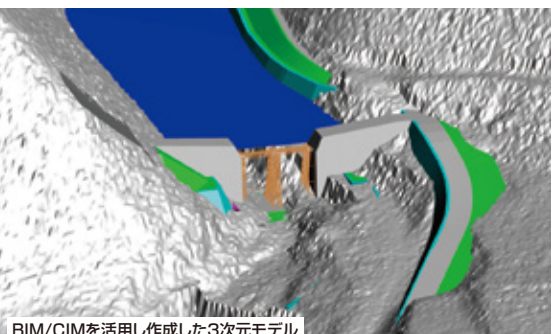


本工区は、人家53戸及び市道580mを保全対象とする急傾斜地です。斜面の崩壊により土砂災害特別警戒区域内の人家に著しい被害を及ぼすおそれがあります。そこで、地域住民の安心安全を確保するため、崩壊土砂防護柵の整備を実施しています。

⑯ 矢竹沢

佐野市 作原町

- 砂防施設づくり事業費(補助)
- 全体計画: N=1基 C=約3億円
- 事業期間: 令和5(2023)年度～令和11(2029)年度(予定)

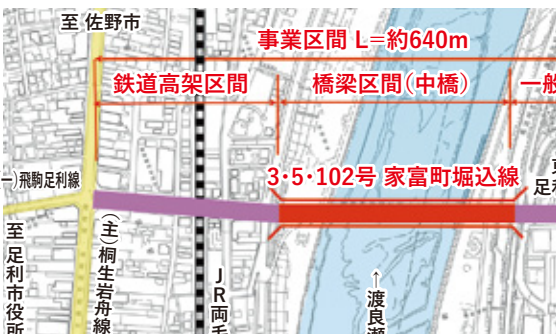


本工区は、人家9戸、浄水場1箇所、県道L=204mを保全対象とする土砂流出危険渓流です。渓流内には不安定な土砂が堆積していることから、豪雨等による土砂流出の抑制を図るため、砂防堰堤の整備を実施しています。

⑰ 都市計画道路 3・5・102号家富町堀込線

足利市 中橋(通2丁目～南町)

- 街路づくり事業費(補助)
- 全体計画: L=約640m 橋梁部W=19.8m 高架部W=22.0m C=約210億円
- 事業期間: 令和3(2021)年度～令和9(2027)年度(予定)



本路線は足利市街地を南北につなぐ重要な路線であり、一級河川渡良瀬川にかかる中橋では、歩行者・自転車の安全確保、交通渋滞緩和及び切り欠いている堤防のかさ上げが必要です。このため、国・足利市と連携し、令和3年度から中橋の架け替えやJR両毛線交差部の立体交差化の事業に着手、今年度5月には堤防かさ上げが完了し治水安全度が向上しました。引き続き完成に向け橋梁の下部工及び跨線部の上部工を進めます。



⑱ 都市計画道路 3・5・101号毛野西新井線

足利市 西新井町

- 街路づくり事業費(補助)
- 全体計画: L=約813m W=15.0m C=約23億円
- 事業期間: 平成31(2019)年度～令和12(2030)年度(予定)



本工区は、足利市中心部と国道50号を結ぶ重要な路線であり、山辺小学校および山辺中学校の通学路となっています。しかし、歩道が未整備であるため安全な通行に支障をきたしています。そこで、安全で円滑な通行空間を確保するため、歩道整備を実施しています。

⑲ 都市計画道路 3・4・1号前橋水戸線

佐野市 高砂町・本町

- 高砂
- 街路づくり事業費(補助)
- 全体計画: L=約300m W=18.0m C=約13億円
- 事業期間: 平成27(2015)年度～令和8(2026)年度(予定)



本工区は佐野市中心部に位置し、近隣には市役所や駅、商業施設が立地しています。車両だけでなく歩行者や自転車の交通量も多いことから、道路拡幅による安全で円滑な通行空間の確保、電線類の地中化による防災機能と美観の向上を図るため、整備を実施しています。

⑳ 都市計画道路 3・4・3号赤見馬門線

佐野市 高萩町

- 街路づくり事業費(補助)
- 全体計画: L=約1,400m W=16.0m C=約28億円
- 事業期間: 平成29(2017)年度～令和10(2028)年度(予定)



本工区の沿線には多くの店舗や事業所等が隣接しており、土日・休日を中心に渋滞が発生しています。そこで、交通容量の拡大、安全性の向上を図るため、車道の3車線化や交差点改良、歩行者・自転車の通行帯分離を実施しています。

A 一般県道 佐野太田線

足利市 川崎橋

- 道路メンテ事業補助(橋梁)
- 全体計画: L=約389m C=約12億円
- 事業期間: 令和3(2021)年度～令和7(2025)年度



本路線は、佐野市を起点として渡良瀬川を横断し群馬県太田市に至る幹線道路です。渡良瀬川に架かる川崎橋は昭和55(1980)年に架橋されてから41年が経過し老朽化が進んでおり、早急な補修が求められていました。そこで、安全で安心な通行を確保するため、長寿命化計画に基づき塗装塗替え工事を令和3年度に着手し、令和7年5月に完成しました。

B 主要地方道 桐生田沼線

佐野市 関馬町(春高橋)

- 快速で安全な道づくり事業費(補助)
- 全体計画: L=約550m W=10.5m C=約10億円
- 事業期間: 令和2(2020)年度～令和8(2026)年度 ※橋梁部



本工区は群馬県桐生市と佐野市街地を結ぶ重要な路線ですが、道路の幅員が狭く、歩道もないため、歩行者及び自転車の通行が大変危険な状況となっています。そこで、安全で円滑な通行空間を確保するため、春高橋の架け替えを含めた道路拡幅を実施しております。令和8年4月には春高橋の架け替えが完了しました。

